

日本福祉大学「福祉現場と専門職養成をつなぐフォーラム愛知」

2015年度第1回幹事会・開会あいさつ

本日は、「福祉現場と専門職養成をつなぐフォーラム」2015年度第1回幹事会にご参加いただき、ありがとうございます。皆様には、日頃、社会福祉実習の受け入れや学生・卒業生の採用等で大変お世話になっていることに、改めて感謝申し上げます。

昨年10月の幹事会において「福祉現場専門職養成をつなぐフォーラム愛知」の設立をご確認いただき、その後、本学が社会福祉士実習でお世話になっている愛知県内の144の社会福祉法人様に、本学と幹事法人様の連名で「フォーラム愛知」設立のご案内をしました。そして、いよいよ本年度から「フォーラム愛知」の事業を進めて行くことになりました。

本日はこの後、社会福祉学部長・児玉善郎が「日本福祉大学の教育目標と目ざす大学像について」報告し、社会福祉実習研究センター長・木戸利秋が『「フォーラム愛知」の2015年度事業と2016年度以降の事業』について提案させていただきます。それらに対して、皆様の率直で忌憚のないご意見をお出し頂ければ幸いです。

幹事会終了後、30分という短い時間ではありますが、この東海キャンパスをご案内いたします。これからも、本学の教育・研究にご支援いただくよう、お願いします。

次に、簡単に本学の近況報告、トピックスを2つ紹介します。1つ目は、言うまでもなく、「都市型」の東海キャンパスを名鉄太田川駅前に開設したことです。東海キャンパスには新たに看護学部を設置すると共に、美浜キャンパスにあった経済学部と国際福祉開発学部を全面移転しました。新設した看護学部（入学定員100人）の入学試験には1200人を超える受験生が受験し、115人が入学しました。しかも、新設学部にもかかわらず、予備校の入試難易度ランキングでは、県内私学の最上位グループと評価されています。本学の看護学部は、他の医学部系の看護学部と異なり、平仮名の「ふくしの総合大学」の看護学部として、今や国策となった「地域包括ケアシステム」を担える、保健・医療・福祉の連携に強い看護師を養成したいと思っています。ご期待下さい。

私は、東海キャンパスに来るたびに、生協食堂と図書館を利用しているのですが、そこでいつも市民や近隣企業の方を多数お見受けし、本キャンパスが最初から地域に根ざしたキャンパスになっていることを実感しています。実は、東海キャンパスは東海市の全面的支援を受けて開設しており、食堂と図書館は市民が自由に利用できるようになっています。生協食堂では、500円コイン一個、つまり他店ならコーヒー一杯分の値段で、栄養バランスがしっかり考えられた、(そこそこに)おいしい食事をとったり、ゆっくりと団らんすることができます。図書館には、東海市の支援を受けて、「東海市雑誌・図書コーナー」を設け、他の大学図書館にはない、一般市民向けの「柔らかい」雑誌や本を多数揃えています。皆様も、是非ご利用下さい。

もう1つご報告したいことは、本学のCOC(Center of Community) 事業のことです。昨年10月の幹事会でもご報告したように、昨年7月、本学の提案した「持続可能な『ふくし社会』を担う『ふくし・マイスター』の養成」プログラムが、文部科学省の「平成26年度地(知)の拠点整備事業(COC)」に、全国の福祉系大学で唯一採択されました。COCは、大学が地域再生の核となり、教育・研究・社会貢献の地域志向性を強め、それらの取組を通して地域課題解決や地域活性化を図るものです。採択直後から、在学生を対象とした「ふくし・マイスター」養成の準備を進め、本年度から「ふくしコミュニティプログラム」の科目(1年生全員履修)を全学部で開講しています。本学は、この事業を、美浜町、半田市、東海市、および知多半島の多くの社会福祉法人やNPO法人等と共同で進めることにより、「持続可能な『ふくし社会』の『知多半島モデル』」を作りたいと思っています。この面でも、皆様のご指導とご協力をよろしく申し上げます。

以上で、私の開会挨拶を終わらせて頂きます。

2015年6月17日

日本福祉大学学長

二木 立